

薬局だより No.2

2021年10月
薬剤部・医療安全部

COVID-19 への治療は治療法が確立してない中、当院では抗ウイルス剤であるファビピラビル（アビガン®）が治験薬として処方されてきた。しかしながら最近ではレムデシビルやデキサメゾンが COVID-19 への治療薬として承認されて以来、治療薬の選択肢の幅が広がってきている（図1）。

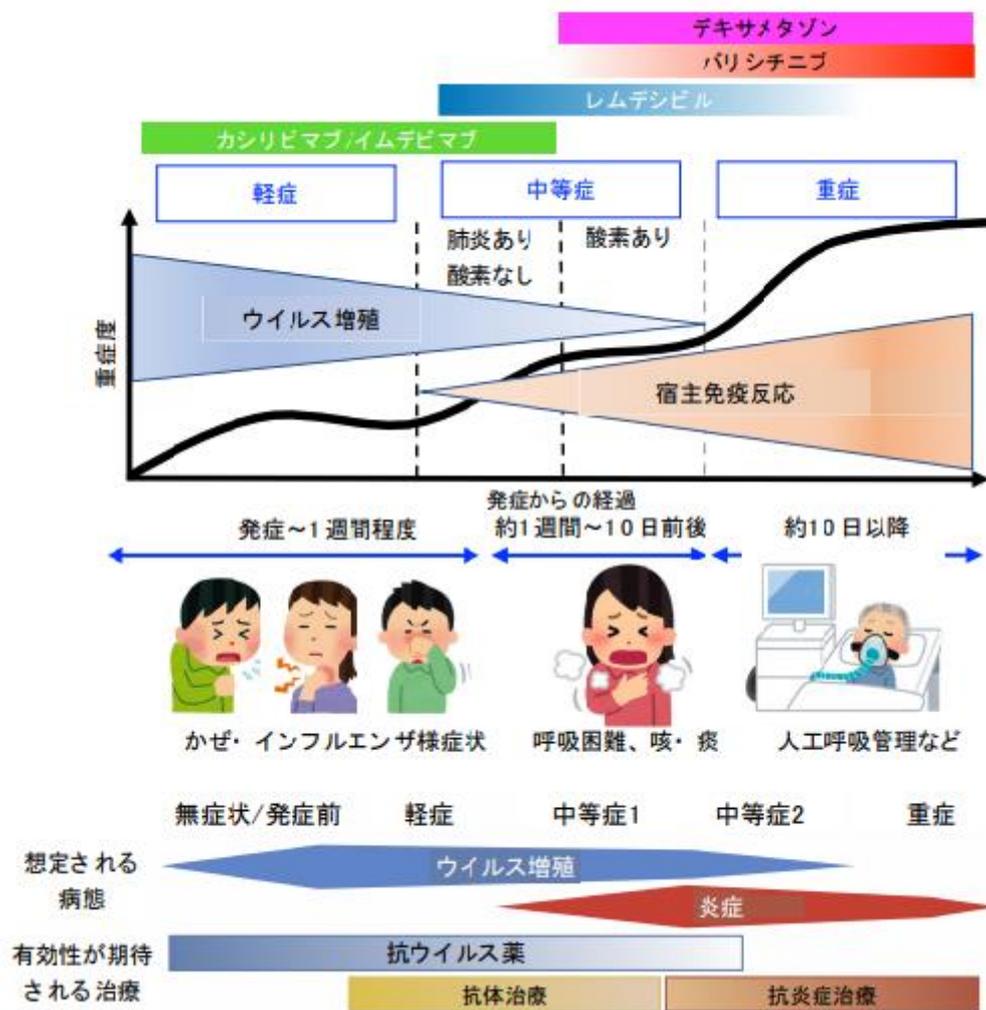


図1. COVID-19 に対する薬物治療の考え方 第8版

ついに世界的に待ち望まれてきた数種類の内服薬も治験が行われている。そこで、ファビピラビルより後の最近治験されている話題の化合物をまとめてみた。

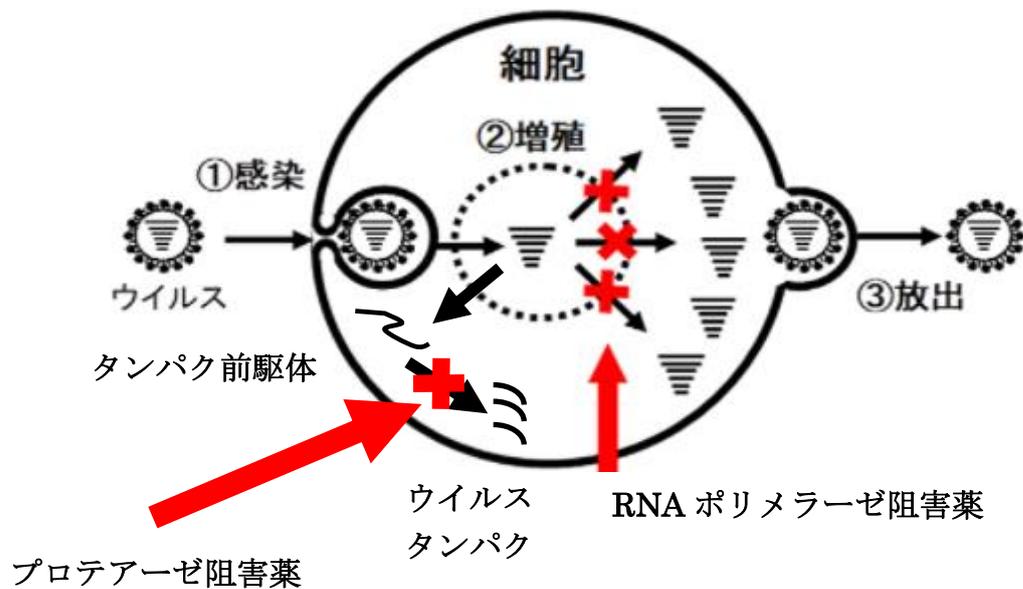


図2.富士フィルム HP より改編

<https://www.fujifilm.com/jp/ja/news/list/3210>

ファビピラビルと同様な機序をもつ RNA ポリメラーゼ阻害剤である。

MSD 社 モルヌビピラビル 1)
中外製薬 AT-527

プロテアーゼ阻害剤である。

塩野義製薬 S-217622
ファイザー社 PF-07321332

モルヌビピラビルの治験について数種類の用量で行われているが
1日2回（12時間ごと）5日間投与で行われている 1)。

以上のいずれの阻害剤（図2）もウイルスの増殖を抑える化合物であるため
に発症早期の服用が望ましいと思われる 2)。

参考文献

- 1) NIH Clinical Trials. Gov
<https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04575597?term=molnupiravir&draw=2&rank=2>
- 2) Serap ŞİMŞEK YAVUZ1 et.al. An update of anti-viral treatment of
COVID-19 Turkish Journal of Medical Sciences (2021) 51:2106